

## 平成 30 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 教育学部  
氏 名 岡野 昇

活動テーマ	津市における「子どもの体力・運動能力向上のための推進活動」と「教員の学びの支援ネットワークの構築」(3年目)
実施期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
活動内容	<p>本事業の最終年度にあたる活動内容は、①『津市版・楽しい運動例』の実践・研修・普及②『学びのこよみ(小学校体育学習)』の実践・研修・普及③『運動遊びのこよみ(幼稚園)』の検討④特化研究プロジェクト(津市教育委員会の事業)における体力向上研究推進校の指定・支援⑤県立久居高等学校スポーツ科学コースと近隣小学校の連携活動の 5 つである。①は 1 年半がかりで製作した幼稚園、小中学校向けの準備運動の教材(専用 DVD、解説書)に基づいた研修会等を通じて普及活動を行った。②は三重大学教育学部保健体育科教育学研究室が体育における学びのデザインとして開発・作成した 4 月はじまりの月別卓上カレンダー(小学校低・中・高学年版の 3 部 1 セット)を津市内すべての小学校及び義務教育学校へ導入した。また、『学びのこよみ』に基づいた教員研修(講義と実技)を 2 回開催した。③は②と同様の幼稚園版の検討に加え、中学校版の実践的検討を行った。④は特化研究プロジェクトとして、委託小学校が体育科を中核とした授業研究とカリキュラム研究に取り組むと同時に、教員を対象とした公開授業研究会を開催した。⑤は久居高校体育塾として、近隣小学校の体育学習における運動補助を実施した。</p> <p>本事業の最大のミッションは、津市の子どもの体力・運動能力等の現状を鑑み、体力の向上であった。最終年度にあたる「平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における津市の調査結果概要は次の通りである。調査は平成 30 年 4 月から 7 月の期間、津市内小学校第 5 学年児童約 2,422 人、津市内中学校第 2 学年生徒約 2,253 人を対象に、実技に関する調査項目等を実施した。結果は体力合計点について、本事業を開始した 3 年前と比べ大きくポイントを伸ばした。なかでも小学校男子、中学校男子・女子は全国平均値を上回り、特に小学校男子は平成 25 年度からの悉皆調査開始以来、初めて全国平均値を上回った。一方、小学校女子は全国平均値を僅差で上回ることにはなかったものの、平成 25 年度からの悉皆調査開始以来、過去最高値の体力合計点であった。以上のことから、本事業における一連の活動の取組は、津市内の子どもの体力向上に寄与したものと考えられる。特に注目すべきは、本事業が行政のトップダウン型やトレーニング型の体育授業や行間体育の展開とは異なる点である。本事業のいずれの活動も、教員の学びと子どもの体育の学び(運動遊び)の連動、幼稚園から中学校までの体育の学び(運動遊び)の連動を企図した教員支援プログラムであった点は特筆できる。</p>